



世界中から集まった研究者(写真提供:OIST)

Q.「学際的」?

A. 少々難しい言葉ですが、「学際的」とは1つの研究の具体的な目的に限定することなく、複数の分野の研究も取り込んだ研究を行うことなどをいいます。

Q.「知的・産業クラスター」?

A. クラスターとはブドウの「房(ぶさ)」のようなもので、幾つかが集まってひと固まりとなったものを意味します。大学や公的機関などを核に、ベンチャー企業や中小企業などが連携し、独自の技術開発に基づくイノベーションを生み出す仕組み、あるいはそのような取り組みのことをいいます。

ていくことが重要です。また一方でOISTは、優秀な研究者や学生が内にこもって教育及び研究を行うだけの閉鎖された垣根の高い大学ではなく、地元恩納村で小学生向けの「こどもかがく教室」を定期的に開催したり、全県域

OISTが開学するにあたり、研究者や学生、またその家族が快適に暮らせるように国際的な居住環境の利便性向上を図り、県内の大学や研究機関、企業などとの連携や交流を容易にする仕組みづくりが重

OISTの周辺整備

OISTが開学するにあたり、研究者や学生、またその家族が快適に暮らせるように国際的な居住環境の利便性向上を図り、県内の大学や研究機関、企業などとの連携や交流を容易にする仕組みづくりが重

また、どの大学にも必ず大学院があるとは限りません。逆に、学部を持たず、大学院だけを持つ大学を「大学院大学」と呼びます。OISTも学部を持たず、大学院だけを持つ大学院大学です。

大学院って何?

の高校生にキャンパスツアーを呼びかけたり、地域の各行事には積極的に参加するなど「コミュニティー」の繋がりを大事にしています。

の高校生にキャンパスツアーを呼びかけたり、地域の各行事には積極的に参加するなど「コミュニティー」の繋がりを大事にしています。

世界最高水準 沖縄科学技術大学院大学が創設!



ジョナサン・ドーフン 学長 (写真提供: OIST)

撮影: 東出 清彦



創立記念式典の様子(写真提供:OIST)

OISTの概要

二〇一〇年六月、OIST構想が当時の内閣府特命担当大臣によって提唱され、二〇一〇年四月にOIST建設予定地として恩納村が選定されました。丘陵地にある恩納キャンパスは亜熱帯の豊かな森に囲まれ、また大変美しい沖縄本島西海岸を見下ろすことができます。この理想的なロケーションは世界最高水準の

二〇一〇年十一月、国家プロジェクトとして進められてきた「沖縄科学技術大学院大学」[Okinawa Institute of Science and Technology] (OIST) がこの沖縄に創設されました。

OISTは、世界的にも優れた科学技術の教育及び研究を行うことで、沖縄の自立的発展と世界の科学技術の向上に資することを目的としており、二〇一二年九月に開学を予定しています。

研究を行うのにふさわしい環境であり、斬新かつ国際色あふれるキャンパスの実現を目指しています。ではOISTはどのような学校なのでしょう。OISTには次の特徴があります。

- 学際的かつの研究科(科学技術研究科)の専攻(科学技術専攻)
- 五年一貫性の博士課程のみ
- 五十名規模の教授陣で毎年約二十名の学生の受け入れ
- 教育及び研究は英語で行う
- 学生、教員の半数以上は外国人となることを想定

現在OISTには、生命科学、物理科学、環境科学といった分野から既に五十名近くの世界トップクラスの教員が着任し、研究を開始しています。さらに今年九月以降、世界中から選りすぐられた優秀な学生が毎年二十名ずつこの沖縄に結集し、学際的で先端的な教育及び研究活動を行います。

将来像としては、OISTを核とする地域に根ざした知的・産業クラスターを形成し、先進的な研究開発成果を沖縄県の産業振興に繋げ

要となります。

生活支援環境整備、医療環境整備、教育環境整備、交通基盤整備など分野別に整備を促進させる必要がありますが、例えば教育環境整備では、二〇一一年四月にうるま市で「アミークスインターナショナル(AMICUS)」が開校しました。

OISTをどう活用し、どのように自立的発展に結びつけるか。地理的、文化的、人種的、資源的に優れた沖縄に誕生したOISTは、無限の可能性を秘めています。ぜひ、県民みんなでOISTを応援し、関心をもって、沖縄振興の翼を担うOISTに期待してください。

キャンパスツアー

広く県民及び来訪者に対しOISTをより身近なものと感じて頂くことができるよう、二〇一一年四月から随時キャンパスツアーを実施しています。



中庭から施設を望む(写真提供:OIST)

OISTの展望

今後はOISTがどのように沖縄に根付き、世界最高水準を目指し発展していくか。また地元沖縄が



キャンパスツアーの様子(写真提供:OIST)

※詳しくは、OIST地域連携セクションまで TEL:098(966)2184 <http://www.oist.jp/ja/about-oist/campus-tours.html>

解説 ※AMICUS

AMICUSはOIST子弟の受け皿になることを期待して、県地元うるま市、旺文社が協力して設置した学校で、インターナショナルコースとイメージングコースの二つのコースがあり、幼稚園から中学三年までの一貫教育を行っています。現在は幼・小四までの約二〇〇名の児童が入学しており、ゼロから英語を学ぶ子どもも半ばは一定の英語力が身につけており、小学校卒業時までに全員が英検二級の取得を目指しています。課外活動も多彩で、馬術クラブやゴルフ、空手、陶芸教室などがあります。卒業後は国内の高校にも進学できるほか、海外の提携校も順次増やしていきます。七台のスクールバスが運行し沖縄本島全域を通学圏内としています。